

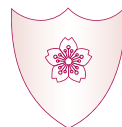
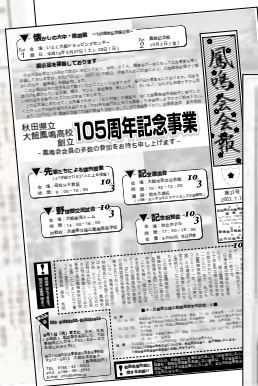
# 祝 40号

Since 1985

吉田富久子さん(高6期)らが中心となり、おおとり会(女子卒業生の会)で発行していた「おおとり」を母体として、昭和60年5月10日に「鳳鳴会会報」第1号を創刊以来、節目の40号の発行となりました。



会報第1号



第40号  
2008. 2 .21

発行  
秋田県立大館鳳鳴高校  
鳳鳴会  
〒017-0813 大館市字金坂後6  
TEL・FAX 0186-44-5411  
URL <http://www.homei.jp>  
題字  
藤嶋省平鳳鳴会顧問  
印刷  
武内印刷株式会社

## 記念事業〈予定〉

- ◆式典・記念講演会 (大館市文化会館) 10/ 3 (金)
- ◆祝賀会 (秋北ホテル) 10/ 3 (金)
- ◆先輩達の課外授業 (大館鳳鳴高校) 10/ 3 (金)又は4 (土)
- ◆野球部招待試合 (樹海ドーム) 10/ 4 (土)
- ◆記念展示会 (伊徳ショッピングセンター) 9/27(土)・28(日)
- ◆施設整備
  - ①グラウンド整備 ②野球場安全対策 ③体育館暗幕更新
  - ④体育館紅白幕更新 ⑤校旗(略旗)更新 ⑥AED(野球場用)
- ◆図書整備
- ◆記念学校行事
  - ①運動会 ②鳳鳴祭 ③強歩大会
  - ④SSH韓国交流(理数科2年を韓国派遣・2年間)～2頁に関連記事

祝  
創立  
110周年

## その名は「鳳凰大橋」



昨秋、市街地の長木川にかかる長木大橋、東大橋、西大橋、大下橋に加え、大下橋上流に鳳凰大橋が開通しました。  
東台のピンクのアパートのある延長線で東バイパスとして長木・代野・小坂方面が近くなりました。片山方向と代野方向が雪雲に反射されて明るく見えます。

# ソウル美林女子情報科学高校と交流

一月十日(木)朝、理数科二年H組生徒三十二名、引率教員四名(团长山本達行教頭)は、韓国ソウルの美林女子情報科学高校での課題研究の発表を行うために秋田空港に向けて学校を出発した。

発表当日の翌十一日ソウルは珍しく雪で、午前景福宮、国立民俗博物館を見学したあと美林高校に向かい、課題研究を英語にしておして発表二班のほか、ポスターセッションで八班がこれまでの成果を発表した。美林高校側からはアニメのデジタル映像の作品紹介があった。質疑応答は積極的に手応えを感じた内容であった。発表終了後の自由な交流の時間では、大いに交歓を深め、国際理解を深める十分な機会になった。

英語の必要性や相互の文化理解を実感した有意義な韓国研修で、疲れも見せず無事十二日午後三時頃に帰校した。飛行機では、往復寺田知事と一緒にあった研修旅行であった。

## 感想

理数科で取り組む課題研究の成果を英語で発表しコミュニケーション能力を高める事を目的に訪問し、相手校の授業作品も鑑賞させてもらった。相手校も学習活動を通じての交流が初めてで、お互いに新鮮な刺激を受け目的以上の収穫を実感しつつ帰路についた。木村 泰子

## 感想



僕は、韓国に行くのを楽しみにしていました。外国へ行くのは初めてで日本とは違った文化を体験したいと思っていました。韓国へ行き、最も印象に残っていることは、韓国の人は日本人に親しみ深いことでした。テレビをつけると日本のアニメが放送され、行く先々で日本語が通じました。町並みも文字と言葉が違うだけで日本のように感じました。交流先の学校では、自分達の研究を英語で発表しましたが英語よりも日本語を話せる人がたくさんいたのに驚きました。発表後、学校を案内してくれたり、お菓子を食べたりして歓迎してくれて暖かい心の人達ばかりでした。機会があればまた行ってみたいです。

## 日程の中心 見学箇所

- 1/10(木) 学校8:30発→11:00着(秋田空港)→秋田空港13:10発(大韓航空770便)→15:40着(仁川空港)→仁川空港16:30発→ソウルへ
- 1/11(金) 朝食後、交流校の代表とソウル市内研修 景福宮、国立民俗博物館の見学 昼食後、交流校へ 13:30~16:30 学校紹介、研究発表、ポスターセッション、質疑応答(コミュニケーション) 夕食後宿舎へ
- 1/12(土) 宿舎6:30発→8:00着(仁川空港)→仁川空港9:55発(大韓航空769便)→12:10着(秋田空港)→秋田空港13:15発→学校15:45着

**交流校・交流生徒**  
 韓国 ソウル 美林女子情報科学高等学校  
 ゲームアニメーション科 2年生 31名  
**発表&ポスターセッション**  
**【物理】**・打楽器のスペクトル(英文ポスター)・逆立ちごまについての研究(発表)・スターリングエンジンの作成(英文ポスター)・クラウンが贈る奇跡(英文ポスター) **【化学】**・稲わらからの糖生成~バイオ燃料の生成に向けて~(発表) **【生物】**・クマムシの生活環境について(英文ポスター)・種子におけるクラウンゴールの形成(英文ポスター)・幸せを探して~クローバーの研究~(英文ポスター)・ミジンコの水質浄化の可能性について(英文ポスター) **【地学】**・芝谷地湿原の水質とリンの吸着能力の研究(英文ポスター)

## 感想

美林女子高校で交流をして初めての印象は「日本語うまいなー!!」だった。私たちが説明しようとして英文を考えていると「日本語で言って(ニコ)」と言われ緊張しながらも頑張った。伝わったことで自信が持てた。もっと韓国語を勉強していくべきだった。楽しかった!

成田ミユキ

浅井 貴裕

## 平成十九年度「松下村塾カルチャースクール」

■第一回 「本当は怖くない病気の話し 偽薬の不思議」

6月23日(土) 午後2時 鳳鳴記念館  
 講師:佐々木隆幸(佐々木内科医院院長)

■第二回 「南洋パラオ旅行記」

7月21日(土) 午後2時 鳳鳴記念館  
 講師:坂本 公正(大館鳳鳴高校職員)

■第三回 「弘前藩の参勤交代と大館」

9月15日(土) 午後2時 鳳鳴記念館  
 講師:高橋 務(大館鳳鳴高校職員)

■第四回 「家庭で作れる簡単フランス料理」

10月20日(土) 午後2時 中央公民館  
 講師:福田 久義(レストランポンパドールシェフ)

■第五回 「おもしろ科学ゼミナール」

11月10日(土) 午後2時 鳳鳴高校物理室  
 講師:山本 達行(大館鳳鳴高校職員)

■第六回 「中国おもしろ雑学史2」

11月24日(土) 午後2時 鳳鳴記念館  
 講師:桑名 秀明(玉林寺住職)

平成二十年度も「松下村塾カルチャースクール」の開講を予定しております。ふるってご参加下さい。





平成19年7月22日 北鹿新聞より

▽硬式野球部

甲子園予選をふり返って
野球部部长 三浦 開仁
昨年の夏、鳳鳴高校野球部の甲子園への挑戦は、ベスト4というあと一歩のところまで終わっていました。

準決勝までの五試合は、どの試合も手に汗握る熱い戦いでした。その中でつかみ取った勝利の喜びは最高でした。
このように、私達野球部が、最高の舞台で、思いきり野球が出来たのも、父兄の方々やOBの方々、地域住民の方々の支えがあったからこそだと思います。本当にありがとうございました。

■夏季甲子園大会秋田県予選

17-1 大曲農業太田分校 (五回コールド)
8-7 西仙北 (延長十回)
8-7 大曲工業 (延長十三回)
準々決勝 5-4 明桜
準決勝 7-8 秋田 (延長十回)

▽アーチエリー部

■東北選抜

男子団体—三位
男子個人—五位：大森健人③
女子団体—三位

■インターハイ

男子個人出場：大森健人③
女子個人出場：樋口弘恵③

■第62回国民体育大会

少年男子出場：田村佳大③
少年女子出場：樋口弘恵③

■全県新人大会

男子団体—準優勝
男子個人—二位：富山 諒②
男子個人—三位：伊藤大智②
男子個人—四位：人見健太②
女子個人—四位：菊池 萌②

▽剣道部

■高等学校選抜剣道大会

男子団体—優勝
女子団体—準優勝

▽水泳部

■全県新人大会

男子八〇〇Mリレー—六位
男子一〇〇Mバタフライ—二位
男子二〇〇Mバタフライ—四位
男子二〇〇M自由形—二位

(東北大会出場)
女子総合—準優勝 (東北大会出場)
女子四〇〇Mリレー—準優勝
女子西〇〇Mドレーリ—準優勝

女子一〇〇M自由形—三位
女子一〇〇M背泳ぎ—四位
女子二〇〇M平泳ぎ—四位
女子二〇〇Mバタフライ—四位

：角田 菜①
：角田 菜①
：佐藤友惟①
：山本奈都生①

：田中 小鉄②
：田中 小鉄②
：田中 小鉄②
：山本奈都生①

：角田 菜①
：角田 菜①
：佐藤友惟①
：山本奈都生①

▽女子ソフトテニス部

■東北大会出場

個人 島山志・木村組
吉田・池端組

▽バドミントン部

■全県新人大会

男子ダブルス—二位—優勝
男子シングル—二位—優勝
男子シングル—二位—優勝

：高谷 森①
：高谷 森①
：高谷 森①

▽陸上競技部

■東北大会

男子三段跳—四位：齊藤元治③
男子三段跳—三位：齊藤元治③
男子ハンマー投—四位

■県選手権大会

男子三段跳—四位：齊藤元治③
男子三段跳—三位：齊藤元治③
男子ハンマー投—四位

■県民体育大会

少年男子B
少年女子B
少年男子A
少年女子A

：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①

：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①

：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①

：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①

：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①

：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①

：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①
：山口勇人①

女子四〇〇Mリレー—優勝
藤田・安藤・千葉・木村

女子一六〇〇Mリレー—優勝
木村・千葉・藤田・安藤

走幅跳—三位：橋本彩香①
男子一〇〇M—六位

男子一〇〇M—三位
女子一〇〇M—三位

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：安藤美彩②
：安藤美彩②
：安藤美彩②

：伊藤朋恵①・貝森利香①
入選：関美香子②・小林 澯②

：成田 萌②・山田りか①
入選：便利屋本舗

：藤田 桜①
入選：鳳鳴恋愛推進委員会

：高橋 僚②
入選「ものふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

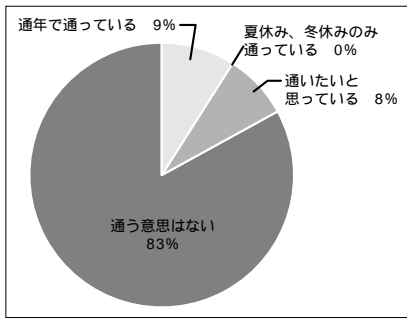
：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

：高橋 僚②
入選「のふ、現代に来る」

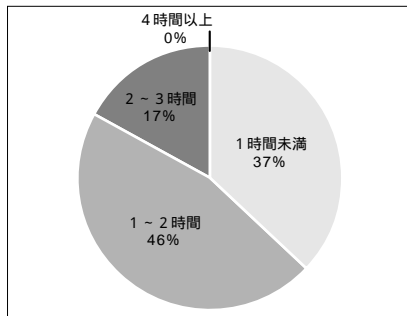
## 現代鳳鳴気質 在校生アンケートの結果

予備校や学習塾の利用状況を聞いてみました。



### ■学習塾、予備校の利用状況

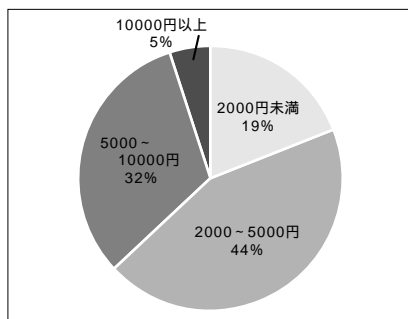
現在の鳳鳴生をかいま見ようとして学校側の全面協力のもとアンケートを実施した。十二月の実施ということもあり、さすがに三年生はサンプルから除外したが、はてさて今の現役鳳鳴生の実体が見えてくるかこないか……。中にアンケートとして成立していない設問があります。今の鳳鳴の香りを嗅ぐ参考程度に読んでください。(と、急に弱気になる担当者)



### ■一日の勉強時間

進学率だけが学校の善し悪しを計る基準じゃないぜ！

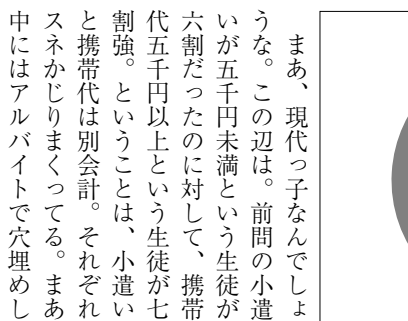
選択枝の範囲は揃えないという設問になってしまいました。まあ、設問の誤差範囲ということでは……すみません。小遣い五千円～一万円のはもらいすぎだろ！四割弱の生徒が月に五千円以上もらっ



### ■一ヶ月の小遣い

八割超の生徒が、この種の施設に通う意志すらないというのは、かなり驚きだったが、OBとしては、この「質実剛健」さに好感が持てる。高校生活のメインはクラブという生徒も多いはず。有名大学の進学率だけが学校の善し悪しを計る基準じゃないぜ！

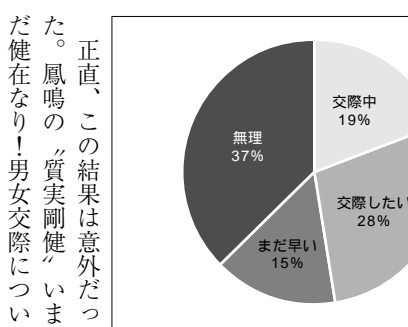
まあ、現代っ子なんですよな。この辺は。前問の小遣いが五千円未満という生徒が六割だったのに対して、携帯代五千円以上という生徒が七割強。ということは、小遣いと携帯代は別会計。それぞれスネかじりまくってる。まあ、中にはアルバイトで穴埋めしている生徒もいると信じている！



### ■一ヶ月の携帯料金

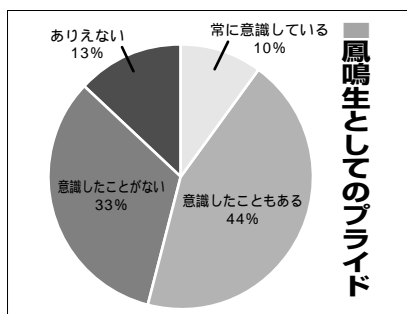
まあ、現代っ子なんですよな。この辺は。前問の小遣いが五千円未満という生徒が六割だったのに対して、携帯代五千円以上という生徒が七割強。ということは、小遣いと携帯代は別会計。それぞれスネかじりまくってる。まあ、中にはアルバイトで穴埋めしている生徒もいると信じている！

担当者自身、携帯電話のことはよく知らないのだが聞くところによると月五千円くらいは相場だとか。「なんとか割」を駆使して五千円未満に押さえてるんですよ。

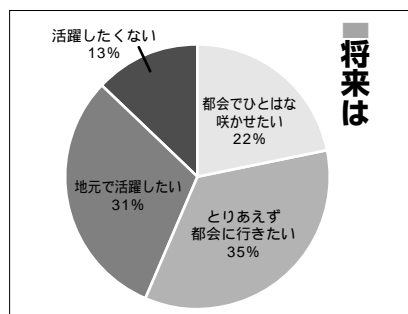


### ■男女交際

努力の跡は見られる……と言いたいところだが、高校生が電話持って何を話している？携帯電話で話さなければならぬほどの緊急事態が発生するの？ゴジラが戸賀湾に出現したら、鳳鳴生は出勤するのか？



### ■鳳鳴生とこのプライド



### ■将来は

転車に二人乗りして長木川の堤防を走るのに憧れはしたさ。したけどね、そういうことをしないのが鳳鳴の「質実剛健」だったのだ。(まあ、相手もいないしね。まずなまずな)

というところで、アンケート結果を極私的に分析してみました。設問&分析は、あくまで私見と誤差の範囲だということで、ご容赦ください。

広報委員 小池 昌平(高36)

広報委員長 小泉 慎子



昨年八月二十五日深夜、木村会長の代理として強歩大会の女子の出発地点・鷹巣南中体育館へ激励に行つてまいりました。ちなみに男子は北空港出発。思い起こせば私が高校二年の時です。一年先輩の女生徒数人に女子だけ集まる様にと云われ「男女共学なのにこの伝統の強歩大会に女子が参加出来ないのは何か変でな〜い?」。「今から教員室に女子も参加させる様に直談判に行くから賛成して」と云う。それから四十数年、強歩大会が全校生徒参加という歴史を刻んでいる事に感無量でした。それまでの女子は関門での接待とか、救護の手伝いとかをしていました。



高出席で男子は少し遠回りして大湯を通つて学校までのコースでした。今の様にウエアも靴も万全ではありません。走る人はほとんどなく、グループを組んで歩いたものでした。完歩率も今よりず〜と悪

女子参加の第一回目は花輪高出席で男子は少し遠回りして大湯を通つて学校までのコースでした。今の様にウエアも靴も万全ではありません。走る人はほとんどなく、グループを組んで歩いたものでした。完歩率も今よりず〜と悪

高出席で男子は少し遠回りして大湯を通つて学校までのコースでした。今の様にウエアも靴も万全ではありません。走る人はほとんどなく、グループを組んで歩いたものでした。完歩率も今よりず〜と悪

何の事故もなく全員完走した旨の報告を聞いてホッと一息つきました。

女生徒だけ集まっているのも鳳鳴としては異様な光景でしたが、ステージに上つた応援団のチアガールが細い声でエールを送るのです。そして校歌を女生徒全員で斉唱して最後に「オス!!」の声にはビツクリでした。

コラム 『人間の条件』の衝撃 —高校時代の映画体験から—

小松 宰 (文筆家 高15期)



高校時代に観た映画の中で、最も強い感動を受けたのは、小林正樹監督の『人間の条件』全六部作だった。最近、久しぶりに見直したが、あらためて感銘を深くした。いまから十五年前にも、そして、そのまた十五年前にも観たような気がするが、観るたびに感動の度合いが強くなってくる。それが傑作というものではないだろうか。

# 奥田惇二さんのこけしコレクションみてある記

藤田 昇 (高6期)

奥田惇二さん(高4期)宮城県柴田郡柴田町医療法人本多友愛会・仙南中央病院勤務。院長。仙台鳳鳴会では当初より副会長。引き続き'04・3・31まで会長。現在顧問。スキージャーナル誌にスキーに伴う負傷対策等の記事を執筆。外多方面で活躍。

奥田惇二さんのこけしが宮城県の二町に寄贈され、柴田町のしげたの郷土館と蔵王町のみやぎ蔵王こけし館にコレクションとして収蔵されています。私は昨年暮に遠刈田温泉山荘での忘年会からの還り道に立ち寄って見つけ出すことになりました。新しいカワイイこけしさんの数々をみて、奥田さんのこけし鑑賞の奥義に至る入口をとり扱えず教わりました。大館とその鳳鳴・周辺の皆さんの旅の葉になればと思つてその一端を紹介することにしました。

まずは、その収蔵館二館と収蔵品に関する諸元を示します。先ずは、その収蔵館二館と収蔵品に関する諸元を示します。先ずは、その収蔵館二館と収蔵品に関する諸元を示します。先ずは、その収蔵館二館と収蔵品に関する諸元を示します。

### こけし紹介の言葉

#### こけしの魅力

しげたの郷土館

こけしは東北各地でお椀やお盆などの日用雑器を挽いていた木地師が、仕事のかたわら子供に作つて与えた人形から派生したとも、信仰の対象が変化したものともいわれています。

「こけしきば」木おぼここの名前が示すとおり、幼子をモデルとして作られた素朴で愛らしい表情は今も多くの人を魅了してやみません。

昨平成十七年秋、しげたの郷土館に対し奥田惇二先生から五〇〇点を超える点数のこけしを寄贈していただきました。郷土館では奥田先生のご指導をいただきながら、地域ごとに整理し、また工人を特定する作業を進めてきたとこ

ろです。こけしは地域ごとに個性豊かな表情や形状、そして紋様が見られます。それらは伝統として地域に受け継がれてきました。さらに、それぞれの地域ではこけし工人たちが工夫を競い、伝統の上に自らの個性を表現してきたことがわかります。

今に息づく伝統、その伝統と地域や工人の個性が織りなすコラボレーション(競演)をお楽しみください。

◎しげたの郷土館  
〒989-1603  
宮城県柴田郡柴田町  
船岡西一―六―二六  
TEL  
〇二二四―五五―〇七〇七  
平成十八年十月十九年一月に寄贈品の公開展示が催されました。しかし、その後奥田さんの屋敷の隅から転げ出てくるこけしさんが増え続けたと云うことです。



郷土館児玉学芸員(右) しげたの郷土館  
奥田惇二さん(左)



## 北欧教育視察から

小棚木政之(広報委員・高38期)

ユバスキュラ大附属基礎学校

で参加した。視察は十月二十一日から一週間。フィンランドとスウェーデンの政府教育省庁と、四つの基礎学校(日本の小中学校)、二つの自治体教育委員会を訪問するハードスケジュールであった。今回は紙幅の都合でフィンランドの教育について所感を記したい。

フィンランドは人口約五百万人、IT先進国としても有名であり、少資源国ながら一人当たりのGDPが(指標にもよるが)日本を上回り、背景に質の高い教育があるというところで、世界からフィンランド詣が続いている。国家教育委員会では日本語のパンフレットを用意、一時間のレクチャーで五万円程度の料金を取るなどしていることから産業観光ならぬ「教育観光」化していることが伺える。

最初に訪問したユバスキュラ教員養成大学付属基礎学校はフィンランドで二〇〇〇年PISA最高点をとった学校であるが、学区制のため、選抜児童ではなく近所の子ども達に通学してきている。教育設備は「ご褒美」もあつてか最新機器が多く導入されており、最近日本でも宣伝されている電子黒板も始めて見た。フィンランドではとにかく

全国学力調査で秋田県が全国一と報じられた日、私はストックホルムにいた。ホテルのロビーで何人かの同伴者は「これだけで秋田県への教育視察が殺到するとは思えないな」と吐いた。調査手法に異議があることは理解できるものの、我が故郷が評価されるのは「何もない」が口癖の県民性であつても面白くないものだ。

私を含む十八名はPISA(OECD加盟国による学力到達度調査)でトップにランクされたフィンランドとスウェーデンの教育事情視察団として訪欧中であつた。私は市民活動でキャリア教育(職業観・勤労観を育む教育)に取り組んでいることから大学院研究者らに加えていただき参加した。多くは世界一の学力に関心があつたようだが、私は北東北に似た環境での教育と地域のあり方を探るつもり



イジメ解決のステップ

### 鳳鳴会短信

★鳳鳴会による全国大会出場選手・監督激励会が、昨年7月17日、母校校長室で行なわれ、木村会長が選手・監督に金一封を渡して激励した。昨夏のインターハイには、アーチェリー部の大森健

人くん(3年)樋口弘恵さん(3年)陸上部の齊藤元治くん(3年)、また全国高校総合文化祭に文芸部の片岡真理亜さん(3年)、NHK杯全国放送コンテストに放送部の菊地真央さん(1年)と齊藤光さん(1年)が出場し健闘した。また1月21日と24日には、将棋とスキー(距離)の全国大会に出場する浅井貴裕くん(2年・囲碁将棋部)と賀川正行くん(2年・スキー部)に、それぞれ金一封を渡して激励した。★札幌鳳鳴会で役員改選があり、新会長に和田稔氏(高4)、前会長の関信弘氏(大37)が顧問に就任した。

### おめでとうございます。

危険業務従事者叙勲 ★瑞宝双光章 工藤正巳氏(高6)  
秋の叙勲受章者 ★瑞宝双光章 岩根重太郎氏(大44)  
秋田県文化功労者 蒔苗昭三郎氏(高3)  
秋田県地方自治功労者 高橋松治氏(高6) 鈴木洋一氏(高15)  
伊藤 毅氏(高25)

### ありがとうございました。

寄贈図書 ★「耶馬台国を訪ねて」(続「継ぐ」)(自費出版)小松原常浩氏(高13)寄贈。「(耶馬台国ははずこ)の題名で出版。同人誌「蟲と樹」に刺激され、沢山の先学の賜物を心と体で感じる旅の記録をまとめたものである。ご一読願いたい。」

★「戸嶋靖昌(高4)」作品集、田中孝一氏寄贈。(この作品集は画家：戸嶋靖昌氏と画商の立場を主張し、結果として「ごじょわた」の魂が結晶した、現代パロック絵画と呼べる一群の誕生が秘められている。)

★「北東北 森の博物館」(自費出版)藤井忠志氏(高26)寄贈。(日本最大のキツツキであるクマガラの貴重な写真を始め、四季折々に表情を変えるブナの森など豊かな北東北の自然とそこに生きる動植物を紹介している。ご一読を。)

★「世界の歴史 全30巻」(中央公論社)「日本の中世 全12巻」(中央公論社)「日本の近代 全18巻」(中央公論社)「日本の歴史 全22巻」(集英社)「ルーブル美術館 全7巻」(NHK出版)「エルミターージュ美術館 全3巻」(NHK出版)故高橋敏夫氏(大38)ご家族より寄贈。

★「続ハト時計」(自費出版)高野博氏(大39)寄贈。「笛」「ペットフード」「おもち」「夢の紙」「心配」「ぼうし」「お友だち」「ゆめ」「オリオンに学ぶ」の9話からなり、身近な題材を中心に仕上がっているご一読を。」

★「出羽路」50周年記念号(141~142号)清野宏隆氏(元教職員)寄贈。(秋田県第二中(大館鳳鳴高校)が明治32年という早い時期に地域に伝わる古美術を一堂に集め行った「開校記念展覧会」について清野氏が書き上げた文献が載っている。)

★大館市の先人を顕彰する会「創立10周年記念誌」石井宏作氏(高11)寄贈。(特集「わが祖先 わが家」日景家、千葉家、野口家、丸屋家、工藤家、田中家、島内家、鷲谷家、石井家、高橋家、桑名家、佐藤家、福土家、伊多波家の祖先を掲載。一読を。)

★「鹿角人のルーツ1」(皇山一鷲(一男)(高21)著)本人寄贈。(あなたはどこから来たのか?その答えはここにある!鹿角人の祖先は関東からやってきた!?その真の祖先を明らかにする!!成田・安保・奈良・秋元の中世鹿角4氏とその分流氏族を詳しく解説して興味深い)

★復刊第3号「清陵」高嶋和俊氏(教諭)寄贈。(大館市内の寺院①浄應寺②蓮莊寺③宗福寺④遍照院⑤一心院の5寺院を調査研究した結果がおさめられている。大館鳳鳴高校社会部誌)

★「ニンギョ様を祀る」(石田真(高5)著)本人寄贈。(大館市内に残る人形道祖神64体すべてを紹介。写真担当の松山尚氏(高11)と3年がかりで調査に取り組んだ労作、B5版80頁2000円売文社発行。)

★「籜」(成田豊人(高22)詩集)本人寄贈。「籜」を含めて23詩集を掲載しております。ポールマッカートニーが新しい歌をTVで歌っている、さすがに類はたるみジーンズの茶色のベルトもゆるんだ酒樽のたがのようだ、ニュースの中で一コマだったが…

★「忠犬ハチ公物語」(ハチ公はほんとうに忠犬だった)(千葉雄氏(大46)著)本人寄贈 118頁500円(人間がこの地球上で人類以外にふれあうことはなく生きていくことはむずかしい。最も身近にいるのが人間の一番古くてよき友の犬である。あんな表情を持つ動物は人間の他にはないかと思うと著者は語っている。一読を!!)

寄贈絵画 ★「逆光の森」(戸嶋靖昌氏(高4)が年少時代に感じた「自然」)田中孝一氏寄贈。(大館郷土館で開催された戸嶋靖昌氏「遺作展」の成功のお礼を込め、田中孝一氏がもっと多くの人に鑑賞してもらいたいとの思いで寄贈され、作品は記念館前に展示しています。)

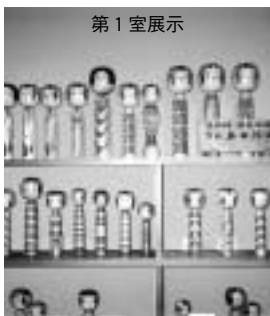
寄贈写真 ★「石田ローズバラ園」写真、「岩木山遭難」の記念写真松山尚氏(高11)寄贈。



しばたの郷土館 外観



寄贈品の展示情景



第1室展示

◎みやぎ蔵王こけし館  
〒989-0916  
宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉  
泉字新地西裏山三六一三五  
TEL  
〇二二四—三四—三三八五

奥田さん寄贈品は第一室にあり、最上段の佐藤好秋作ほか銘品三〇点です。

建物外観と共に写真で示し

みやぎ蔵王こけし館 外観



みてある記の相伴を木村三男さん(高18期)に頼みました。車と地理に詳しいのです。帰り道すき腹で立ち寄った村田町無刀関の蔵王蕎麦は当地の銘品で、実に柔い美味でした。詳しい案内に感謝です。当地へのお越しの節は、こちらの方も忘れなく、味わって下さい。

この国は古くから他国に翻弄され、九〇年代には失業率が二十%を超え、教育改革は国の存亡を賭けたという。裁量権を自治体や学校現場に大幅に委譲(反面学校評価を強化)、給食費を含む一切の教育費を無料化。

「機会の平等」から「結果の平等」へシフト、悪平等ではなく、一人ひとりが国を支える有用な社会人であるべきとの目標から、卒業時に一定のスキルを保障するため、補習にも力を入れ、希望者は十年生としても勉強できる。

「留年ではない」

「フィンランド教育の問題は？」とずばり聞いてみた。

「全体のレベルは上がるが飛びぬけた生徒が出ない」とのことであった。逆に彼らは「日本人が何を観にきたいのか分からない。変わったことはいない。」と言いき、日本は人口が多いのに、暴動も起きず礼儀正しいのがミラクルだ。」と言う。

「両国の制度と現場を見て痛感したことは、教育のグランドデザインが明確かつ共有のものとして認識されており、それは彼らが生まれ育った環境や時代に適応して生きていくための具体的な行動と工夫に過ぎないということである。当然ながら日本の教育も改

善策をどこかに求めるとすれば、それは外国や地域比較や模倣ではなく、一度私たちが自身の内面に問いかける必要があると思ったのである。

帰りの飛行機の中で私の中ではこのフレーズが繰り返されていた。

僕が生まれたこの島の空を僕はどれくらい知っているんだらう／輝く星も流れる雲も／名前を聞かれてもわからない／(中略)／いつの日かこの島を離れてくその日まで／大切な物をもっと深く知っていたい

(BIG IN「島人ぬ宝」)

# 香典返し

（故高橋敏夫氏「大38期・元鳳鳴会会長・同顧問」のご家族より、平成19年10月寄贈）  
 ・昨年8月18日、病氣療養中のところ、永眠しました。一心院での葬儀には、鳳鳴会顧問の藤嶋省平氏が丁寧な弔辞を述べ、故高橋氏のご冥福をお祈りしました。  
 ・使途は、生徒に還元して欲しいとのご家族のご意向により、10周年記念事業の一環として、理数科SSH韓国交流（2年間）に補助させていただくことになりました。

<b>東京</b>	長 村上 芳明(高14) 石井 邦夫(高14) ☎101-0035 住 東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビルB1 ☎03-3254-5255
<b>仙台</b>	長 小笠原明哉(高5) 石戸谷均(高18) ☎980-0013 住 宮城県仙台市青葉区花京院1-5-24サンチュエー1棟内 ☎022-262-2885
<b>札幌</b>	長 和田 稔(高4) 阿部 徹(高15) ☎069-0833 住 北海道江別市文教台15-3 ☎011-387-6363
<b>名古屋</b>	長 相馬 通明(高8) 佐々木直栄(高35) ☎455-0008 住 愛知県名古屋港区9番町4-2-17南郊ハイツ403 ☎052-654-3832
<b>ひたち</b>	長 菊地 陸郎(大41) 斎藤 鉄郎(高9) ☎316-0032 住 茨城県日立市西成沢町4-2-1 ☎0294-36-6586
平成20年度鳳鳴会総会で承認後正式発足の予定	
<b>岩手</b>	長 西川 寛(高13) 安井 稔(高10) ☎030-0955 住 青森市大字駒込字月見野299-268 ☎017-742-5838
<b>秋田市</b>	長 野口 修平(高17) 柴田 司(高27) ☎010-0933 住 秋田市川元松丘町4-59武内印刷棟内 ☎018-862-8754
<b>能代</b>	長 三國 高教(高10) 北林 孝(高21) ☎016-0171 住 能代市河戸川字上相染下16 ☎0185-52-9453
<b>鹿角市</b>	長 吉田 重信(高7) 星川 由則(高24) ☎018-5201 住 鹿角市花輪字中花輪54-2 ☎0186-23-2179
<b>鷹巣</b>	長 槍森 正(高12) 中川 真一(高26) ☎018-3315 住 北秋田市花園町19-1北秋田市役所内 ☎0186-62-6666
<b>登別</b>	長 金 与恵門(大42) 桂 邦夫(高8) ☎018-4301 住 北秋田市米内沢字御嶽50-1 ☎0186-72-3582
<b>阿仁</b>	長(代行) 福島晴(高7) 福島 晴(高7) ☎018-4613 住 北秋田市阿仁銀山字下新町5-8 ☎0186-82-3115
<b>田代</b>	長 猪野 慶(高4) 中村 勇(高19) ☎018-3501 住 大館市岩瀬字大柳86-2 ☎0186-54-2608
<b>比内</b>	長 佐藤賢一郎(高18) 米澤 健一(高3) ☎018-5701 住 大館市比内町扇田字中扇田18 ☎0186-55-0602
<b>小坂</b>	長 川田重三郎(高7) 近藤 肇(高26) ☎017-0292 住 小坂町役場産業課農林班内 ☎0186-29-3912

鳳鳴会 事務局長 田代 比内 小坂 事務局連絡先



## 16番目の地区会 岩手鳳鳴会 設立へ

昨年十二月に、岩手鳳鳴会事務局から、役員名簿、会則、会員名簿をそろえ、本会に送付されてきました。地区鳳鳴会設立の条件が整いましたのでその概要を紹介いたします。  
 これから、理事会等の承認をえて、平成二十年五月の総会で承認されれば、今年「ひたち鳳鳴会」に引き続き、第十六番目の「岩手鳳鳴会」が誕生することになります。創立一〇周年記念の年に設立されることはたいへん喜ばしく思います。  
 (事務局)

### 「岩手鳳鳴会」

- 会長 和田 允二(高8期)
- 副会長 滝沢 三郎(高12期)
- 事務局長 佐藤 孝悦(高14期)
- 理事・幹事 佐藤 孝悦(高14期)
- 幹事 畠山 幸夫(高15期)・藤井 茂(高20期)
- 監事 浪岡 久雄(高21期)・藤井 忠志(高26期)

H19. 11. 24現在

会員数 35名(大44 1名、高5～52 34名)

## 野球部春季キャンプのお知らせ

東京鳳鳴会有志の呼びかけと支援により3月下旬に母校野球部の春季キャンプが下記の通り関東地区で実施されることになりました。強豪校は、年間相当数の試合をこなすということで、雪のない地域で、様々なタイプの学校と対戦し、実力を養うことが目的です。今後の鳳鳴ナインの活躍に期待したいものです。

	第1クール		第2クール		第3クール	
	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)	30日(日)
所在地	茨城県大子町	茨城県大子町	茨城県大子町	茨城県つくば市	茨城県つくば市	栃木県佐野市
午前	大子清流高校到着	終日練習	練習試合	練習試合	練習試合	練習試合
午後	練習		練習	練習	練習	帰校
宿泊	大子清流高校セミナー	大子清流高校セミナー	筑波大セミナー	筑波大セミナー	筑波大セミナー	
球場	大子清流高校G	大子清流高校G	大子清流高校G	筑波高校	筑波高校	佐野日大高校G
最寄り	高萩IC			桜土浦IC		佐野藤岡IC

## 平成20年度鳳鳴会総会のご案内

日時 平成20年5月10日(土) 午後5時  
 会場 大館市片町「秋北ホテル」

\*午後6時より、同会場にて懇親会(会費5千円)を開催いたします。今年は鷹巣在住の音楽家三沢由美子さん他をお招きしてミニコンサートを予定しております。総会ともども、皆様お誘い合わせの上ご出席下さい。なお、当番期は高校20・21・22、30・31・32、40・41・42期の各期ですのでよろしくお願いいたします。

・お問い合わせ 鳳鳴記念館内鳳鳴会事務局  
 (TEL・FAX 0186-44-5411)  
 事務局 宮崎博文(高13期)  
 菅原準一(高13期)まで



県北地区を襲った九月の「豪雨災害」、四十六年ぶりに開催された「秋田わか杉国体」、信じ難かった「比内地鶏表示偽装問題」、これは大館市が発表した十九年度十大ニュースの順位トップ3です。昨年度は、実にさまざま出来事がこの地を駆け巡りました。

その中に、私たち大館市民に元気を与えてくれた「ゼロダテ大館展」(八月十日～十八日)があります。地域活性化を目指したこのアートプロジェクトは、現代美術家である中村政人氏(東京芸大准教授、高33期)をプロジェクトリーダーに、同期の桑名秀明氏(鳳鳴会副会長)が実行委員長となり、鳳鳴卒業生、在校生他、市内外の多くの方々の協力によって築き上げられたアート展です。シャッター通りと化した大町がアートの力によって活気に満ちました。それと平行して催されたライブ、長木川でのいかだ流しも大いに賑わいを見せました。昨年の八月は暑い大館がますます熱く盛り上がったのです。「ゼロダテ」というアートの力が市民の途切れかけていた一人一人の心を再び結んでくれたように思います。

言葉では伝えきれない、理解しあえないことが私たちには沢山あります。アートの力によって解決の糸口を見出すことができるかもしれません。今後の「ゼロダテ」の活躍にさらなる期待が持たれます。

関係者の皆様大変お疲れ様でした。そして、有り難うございました。

根田(高22)

